

2008年3月期 決算補足資料

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 決算概観 | p. 1 |
| 2. 損益計算書の概要 | p. 2~3 |
| 3. 貸借対照表の概要 | p. 4 |
| 4. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 | p. 5 |
| 5. 主要製品売上の状況 | p. 6 |
| 6. 開発品一覧 | p. 7~9 |
| 7. 主な業績項目の推移 | p. 10 |
| 8. 杏林製薬単体資料 | p. 11~14 |
| 9. 主な子会社の業績と予想 | p. 15 |

2008年5月14日

株式会社キョーリン



2008年3月期 決算概観(連結)

08年3月期 連結業績(実績)

売上面では、国内新医薬品が新製品の発売、主要製品の効能・効果追加取得および一時金収入の増加により好調に推移し、連結売上高811億円(前年比5.2%増)となりました。

利益面では、売上高は増収となったものの、研究開発費並びに新薬上市に伴う販売費の増加等により販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益は63億円(前年比25.7%減)、当期純利益は22億円(前年比54.8%減)の減益となりました。

09年3月期 連結業績(予想)

売上面では、国内新医薬品において主要製品の売上拡大が予想されるとともに、08年10月に実施予定の日清キョーリン製薬(株)との統合等により連結売上高は904億円(前年比11.5%増)と伸長する見込みです。

利益面では、販売費等の抑制および日清キョーリン製薬(株)との統合による経費の削減効果に取組み、研究開発費を除く販管費率の低下を見込みます。その結果、連結営業利益80億円(前年比28.0%増)、当期純利益49億円(前年比123.8%増)を見込みます。

単位: (百万円)	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期	前年比
売上高	66,296	74,054	77,093	81,070	5.2%
営業利益	5,866	8,989	8,413	6,251	▲25.7%
経常利益	6,430	9,465	8,655	6,643	▲23.2%
当期純利益	2,013	5,228	4,842	2,189	▲54.8%
EPS	26.48円	69.74円	64.97円	29.26円	▲55.0%
総資産	109,234	121,044	124,039	122,398	▲1.3%
純資産	90,544	94,752	98,178	97,184	▲1.0%

09年3月期 (予想)	前年比
90,400	11.5%
8,000	28.0%
8,400	26.4%
4,900	123.8%
65.49円	123.8%
—	—
—	—

* 06年3月期業績(連結)までは杏林製薬(株)の数値、07年3月期以降の業績及び09年3月期予想は(株)キョーリンの数値

損益計算書の概要：連結一①



(単位:百万円)

	07年3月期		08年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	77,093	100.0%	81,070	100.0%	5.2%	3,977
新医薬品	62,951	81.7%	67,631	83.4%	7.4%	4,680
国内	57,188	74.2%	63,296	78.1%	10.7%	6,107
海外	5,762	7.5%	4,334	5.3%	▲24.8%	▲1,427
後発医薬品	5,734	7.4%	5,088	6.3%	▲11.3%	▲646
ヘルスケア	7,273	9.4%	7,296	9.0%	0.3%	22
その他	1,133	1.5%	1,054	1.3%	▲7.0%	▲79

<適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社9社：杏林製薬(株) 杏文堂(株) ビストナー キョーリンリメディオ(株) ドクタープログラム(株) Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH ActivX Biosciences, Inc. ビストナー番号投資事業有限責任組合

持分法適用会社2社：日清キョーリン製薬(株) 日本理化学薬品(株)

<当期のポイント>

対前年

■ 売上高 81,070百万円 (+3,977百万円)

● 国内新医薬品 63,296百万円 (+6,107百万円)

07.3実績 08.3実績 (億円)

・ムコダイン 204 → 212 (+8)

・キプレス 150 → 191 (+41)

・ペンタサ 80 → 88 (+8)

・ウリトス - → 7 (+7)

*一時金収入が増加、その他売上が減少

● 海外新医薬品 4,334百万円 (▲1,427百万円)

・ガチフロキサシン 32 → 30 (▲2)

*BMS社テクイン販売中止、アラガン社ザイマーは続伸

・その他 22 → 10 (▲12)

*一時金収入の減少

● 後発医薬品 5,088百万円 (▲646百万円)

*品目整理の影響、受託品売上の減少(重点品目の売上は伸長)

● ヘルスケア 7,296百万円 (+22百万円)

・ミルトン 21 → 19 (▲2)

・ドクタープログラム社 28 → 34 (+6)

● その他 1,054百万円 (▲79百万円)

損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	07年3月期		08年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	77,093	100.0%	81,070	100.0%	5.2%	3,977
売上原価	30,620	39.7%	31,757	39.2%	3.7%	1,137
売上総利益	46,473	60.3%	49,312	60.8%	6.1%	2,839
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	38,059 (8,609)	49.4% 11.2%	43,061 (10,826)	53.1% 13.4%	13.1% (25.7%)	5,002 (2,216)
営業利益	8,413	10.9%	6,251	7.7%	▲25.7%	▲2,162
営業外収益	902	1.2%	903	1.1%	0.1%	1
営業外費用	660	0.9%	510	0.6%	▲22.7%	▲149
経常利益	8,655	11.2%	6,643	8.2%	▲23.2%	▲2,011
特別利益	626	0.8%	43	0.0%	▲93.0%	▲582
特別損失	1,027	1.3%	1,068	1.3%	4.0%	41
税金等調整前 当期純利益	8,255	10.7%	5,619	6.9%	▲31.9%	▲2,635
法人税・住民税 及び事業税	3,100	4.0%	2,095	2.6%	▲32.4%	▲1,005
法人税等調整額	324	0.4%	1,333	1.6%	310.5%	1,009
当期純利益	4,842	6.3%	2,189	2.7%	▲54.8%	▲2,652

<当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 0.5ポイント低下 (39.7%→39.2%)
* 低下要因：自社品の新発売及び一時金収入の増加、
能代工場減価償却費の減少
- ◆研究開発費率：前年比 2.2ポイント上昇(11.2%→13.4%)
* 86億円→108億円(約22億円増加)
共同開発品の開発費用の期ズレ等(07.3→08.3)
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比 1.6ポイント上昇
(38.2%→39.8%)
* 295億円→322億円(約27億円増加)
新薬上市並びに効能追加による販促費の増加及び
ドクタープログラムの販売費増加
- 営業利益 6,251百万円(▲2,162百万円)
* 営業利益率は7.7%と3.2ポイント低下
- 当期純利益 2,189百万円(▲2,652百万円)
* 特別損失：約11億円
* キョーリンメディアにおける繰延税金資産取り崩し約3億円
- 配当 22円50銭
* 業績と配当性向を勘案し、当初配当予想の30円00銭
を22円50銭へ修正

貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	07年3月期		08年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	64,860	52.3%	66,016	53.9%	1,155
現金および預金	12,749		10,647		
受取手形及び売掛金	31,514		28,995		
有価証券	1,111		2,209		
棚卸資産	14,614		19,770		
その他流動資産	4,871		4,392		
固定資産	59,179	47.7%	56,382	46.1%	▲2,796
有形固定資産	19,637		18,214		
無形固定資産	4,116		2,356		
投資その他	35,424		35,811		
資産合計	124,039	100.0%	122,398	100.0%	▲1,641
流動負債	19,941	16.1%	19,201	15.7%	▲739
支払手形及び買掛金	9,687		10,792		
その他流動負債	10,253		8,409		
固定負債	5,920	4.7%	6,012	4.9%	92
負債合計	25,861	20.8%	25,214	20.6%	▲647
株主資本	96,922	78.2%	96,401	78.8%	▲520
評価・換算差額等	1,256	1.0%	782	0.6%	▲473
少数株主持分	—	—	—	—	—
純資産合計	98,178	79.2%	97,184	79.4%	▲994
負債及び純資産合計	124,039	100.0%	122,398	100.0%	▲1,641

<当期のポイント>

■ 流動資産： 1,155百万円増

- ・現金、預金の減少 (2,101百万円減)
- ・受取手形、売掛金の減少 (2,518百万円減)
- ・棚卸資産の増加 (5,156百万円増)

■ 固定資産： 2,796百万円減

- ・有形固定資産の減少 (1,422百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (1,760百万円減)

■ 流動負債： 739百万円減

- ・支払手形及び買掛金の増加(1,104百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (1,844百万円減)

■ 固定負債： 92百万円増

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>

(単位:百万円)

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期		09年3月期 (予想)
					実績	増減比	
研究開発費	8,219	12,698	10,107	8,609	10,826	+25.7%	12,200
設備投資	5,670	6,172	4,605	2,954	1,952	▲33.9%	2,600
減価償却費	4,774	3,894	3,646	4,544	4,536	▲0.2%	4,000

<設備投資の状況(実績/予想)>

(実績)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

08年3月期実績

12億円

2億円

5億円

09年3月期予想

9億円

8億円

9億円

(予想)

工場設備

管理・販売設備

研究用設備

主要製品売上の状況



健康はキョーリンの願いです。

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期		
					実績	前 同 比	
国内新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	98	118	134	150	191	26.9%
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	17	23	25	25	23	▲5.9%
	ムコダイン (去痰剤)	180	190	199	204	212	3.6%
	バクシダール (合成抗菌剤)	9	7	6	6	5	▲12.2%
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	70	66	63	58	54	▲6.2%
	アブレース (抗潰瘍剤)	29	26	24	20	18	▲13.0%
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	27	24	22	19	18	▲7.9%
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	60	64	73	80	88	9.3%
	ウリツス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	—	—	—	—	7	—

海外新医薬品	海外売上合計	85	88	86	58	43	▲24.8%
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	71	80	67	32	30	▲7.2%
	ノルフロキサシン (バルク)	11	4	3	4	3	▲24.8%
	海外売上比率	13.1%	13.3%	11.6%	7.5%	5.4%	—

ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	27	23	21	21	19	▲5.8%
-------	----------------------	----	----	----	----	----	-------

09年3月期 (予想)
216
23
216
4
52
16
16
151
20

40
29
2
4.4%

21

(単位:億円)

開発品一覧①(08年5月14日現在)

Ph II ~ III

* : 前回(08年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
	(ガルデルマ社 発売中)	塩酸アモロルフィン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	
	Ph II (04年10月)	KRP-204 (錠)	抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬 従来のβ3作動薬に比べて心への影響が少なく、 肥満を改善することが期待される	日清製粉グループ本社 日清ファルマと共同開発 Ph II a終了
Ph II (07年3月)		KRP-204 (錠)	過活動膀胱 治療剤	日清製粉	β3受容体作動薬 膀胱におけるβ3受容体の活性化により膀胱を弛緩 させ蓄尿機能を高めることが期待される	日清製粉グループ本社 日清ファルマと共同開発 * Ph II a終了
Ph II (05年3月)	(エーザイ) Ph III)	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞 内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を 改善する	・大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ) ・Ph II b(07年9月)開始
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	脂質代謝改善/ 糖尿病治療剤	自社	PPARαアゴニスト。中性脂肪等脂質代謝改善作用に 加えて、糖尿病に対する有効性が期待される	Ph II a終了
* Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑え ることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が 少ない糖尿病治療が期待される	

* 気管支喘息においてPh III臨床試験を実施していた「モンテルカスト注射剤」(共同開発先: 万有製薬)は承認申請を見送りました。

開発品一覧②(08年5月14日現在)

POCプロジェクト

*:前回(08年3月期第3四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
	Ph I (07年7月)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約(06年2月)
	Ph I (07年10月)	KRP-105	脂質代謝改善	自社	選択性の高いPPAR α アゴニスト。KRP-101よりもさらにPPAR α 受容体に対して選択性が高い。脂質改善作用に加え、アディポネクチンの増加、レプチンの減少、体重増加抑制作用などが動物実験で確認されており、新たな脂質改善剤として期待される	
臨床試験 準備中	米国:アボット 欧州他: ムンディファーマ Ph III	*KRP-108	気管支喘息治 療剤	スカイ ファーマ社	ステロイド及び長時間作動型 β 作動薬の配合剤で利便性やコンプライアンスに優れる	スカイファーマ社と ライセンス契約(08年4月)

開発品一覧③(08年5月14日現在)

導出品の状況

*: 前回(08年3月期第3四半期)からの変更点を示す

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内PhⅢ (07年7月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外PhⅡ (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界における独占的 な開発、製造販売権を供与(04年10月) <u>* 08年4月 PhⅡの結果を公表</u>
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外PhⅢ (気管支喘息: 06年11月) 海外PhⅡ/Ⅲ (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎:07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息:海外PhⅢ一旦停止
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外PhⅠ (07年7月)	自己免疫疾患、 臓器移植	自社	・移植用の免疫調整剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤と して、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤と しては、全世界の権利を留保している)を供与 (06年2月)

主な業績項目の推移: 連結

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期(予想)
売上高 (輸出高)	65,061 (8,533)	66,296 (8,838)	74,054 (8,575)	77,093 (5,762)	81,070 (4,367)	90,400 (4,000)
売上原価 (売上原価率)%	22,389 (34.4%)	22,682 (34.2%)	26,515 (35.8%)	30,620 (39.7%)	31,757 (39.2%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	33,905 (52.1%)	37,747 (57.0%)	38,549 (52.1%)	38,059 (49.4%)	43,061 (53.1%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	8,219 (12.6%)	12,698 (19.2%)	10,107 (13.6%)	8,609 (11.2%)	10,826 (13.4%)	12,200 (13.5%)
営業利益 (営業利益率)%	8,766 (13.5%)	5,866 (8.8%)	8,989 (12.1%)	8,413 (10.9%)	6,251 (7.7%)	8,000 (8.8%)
経常利益 (経常利益率)%	8,597 (13.2%)	6,430 (9.7%)	9,465 (12.8%)	8,655 (11.2%)	6,643 (8.2%)	8,400 (9.3%)
当期純利益 (当期純利益率)%	5,692 (8.7%)	2,013 (3.1%)	5,228 (7.1%)	4,842 (6.3%)	2,189 (2.7%)	4,900 (5.4%)
一株当たり当期利益(円)	68.76円	26.48円	69.74円	64.97円	29.26円	65.49円
資本金	4,317	4,317	4,317	700	700	
総資産	121,355	109,234	121,044	124,039	122,398	
株主資本	91,856	90,544	94,752	96,922	96,401	
純資産	—	—	—	98,178	97,184	
一株当たり純資産(円)	1,234.80円	1,218.22円	1,275.15円	1,311.17円	1,298.89円	
自己資本利益率%	5.8%	2.2%	5.6%	5.0%	2.2%	
自己資本比率%	75.7%	82.9%	78.3%	79.2%	79.4%	
人員(人)	1,652人	1,703人	1,823人	1,932人	2,003人	
設備投資	5,670	6,172	4,605	2,954	1,952	2,600
減価償却費	4,774	3,894	3,646	4,544	4,536	4,000

* 06年3月期業績(連結)までは杏林製薬(株)の数値、07年3月期以降の業績及び09年3月期予想は(株)キョーリンの数値を示す

損益計算書の概要：杏林製薬単体①

(単位：百万円)

	07年3月期		08年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	66,052	100.0%	70,480	100.0%	6.7%	4,427
新医薬品	62,709	94.9%	67,452	95.7%	7.6%	4,742
国内	57,188	86.6%	63,296	89.8%	10.7%	6,107
海外	5,521	8.3%	4,155	5.9%	▲24.7%	▲1,365
後発医薬品	383	0.6%	271	0.4%	▲29.2%	▲111
ヘルスケア	2,959	4.5%	2,756	3.9%	▲6.9%	▲203

<当期のポイント>

対前年

- 売上高 70,480百万円 (+4,427百万円)
 - 国内新医薬品 63,296百万円 (+6,107百万円)
- 07.3実績 08.3実績 (億円)
- ・ムコダイン 204 → 212 (+8)
 - ・キプレス 150 → 191 (+41)
 - ・ペンタサ 80 → 88 (+8)
 - ・ウリトス(新製品) - → 7 (+7)
- * 一時金収入が増加、その他売上が減少
- 海外新医薬品 4,155百万円 (▲1,365百万円)
- ・ガチフロキサシン 32 → 30 (▲2)
- * 米国BMS社テクイン販売中止、アラガン社ザイマーは続伸
- ・その他 19 → 9 (▲10)
- * 一時金収入の減少
- 後発医薬品 271百万円 (▲111百万円)
 - ヘルスケア 2,756百万円 (▲203百万円)
- ・ミルトン 21 → 19 (▲2)

損益計算書の概要：杏林製薬単体－②

(単位：百万円)

	07年3月期		08年3月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	66,052	100.0%	70,480	100.0%	6.7%	4,427
売上原価	23,815	36.1%	25,217	35.8%	5.9%	1,402
売上総利益	42,237	63.9%	45,262	64.2%	7.2%	3,024
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	34,623 (8,216)	52.4% 12.4%	38,319 (9,959)	54.4% 14.1%	10.7% (21.2%)	3,696 (1,743)
営業利益	7,613	11.5%	6,942	9.8%	▲8.8%	▲671
営業外収益	761	1.2%	676	1.0%	▲11.2%	▲85
営業外費用	760	1.2%	289	0.4%	▲61.9%	▲470
経常利益	7,615	11.5%	7,328	10.4%	▲3.8%	▲286
特別利益	583	0.9%	15	0.0%	▲97.3%	▲568
特別損失	300	0.5%	530	0.7%	76.8%	230
税引前当期純利益	7,898	11.9%	6,813	9.7%	▲13.7%	▲1,085
法人税・住民税 及び事業税	2,853	4.3%	1,980	2.8%	▲30.6%	▲872
法人税等調整額	347	0.5%	1,056	1.5%	204.3%	709
当期純利益	4,697	7.1%	3,776	5.4%	▲19.6%	▲921

当期のポイント

対前年

- ◆原価率：前年比 0.3ポイント低下
(36.1%→35.8%)
* 低下要因：自社品の新発売及び一時金収入の増加、
能代工場減価償却費の減少
- ◆研究開発費率：前年比 1.7ポイント上昇
(12.4%→14.1%)
* 82億円→100億円(18億円増加)
共同開発品の開発費用の期ズレ等(07.3→08.3)
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比 0.2ポイント上昇
(40.0%→40.2%)
* 264億円→284億円(20億円増加)
新薬上市並びに効能追加による販促費の増加
- 営業利益 6,942百万円
(▲671百万円)
営業利益率は9.8%と1.7ポイント低下
- 当期純利益 3,776百万円
(▲921百万円)

貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位:百万円)

	07年3月期		08年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	55,296	52.1%	57,044	54.4%	1,747
現金および預金	9,337		7,755		
売掛金	27,570		25,895		
有価証券	999		2,007		
棚卸資産	12,596		17,156		
その他流動資産	4,791		4,229		
固定資産	50,745	47.9%	47,866	45.6%	▲2,879
有形固定資産	16,055		14,771		
無形固定資産	2,864		1,450		
投資その他	31,825		31,644		
資産合計	106,042	100.0%	104,910	100.0%	▲1,132
流動負債	14,655	13.8%	13,824	13.2%	▲830
支払手形及び買掛金	6,515		7,968		
その他流動負債	8,139		5,855		
固定負債	4,589	4.3%	4,293	4.1%	▲295
負債合計	19,244	18.1%	18,118	17.3%	▲1,126
株主資本	85,706	80.8%	86,140	82.1%	434
評価・換算差額等	1,091	1.1%	651	0.6%	▲440
純資産合計	86,797	81.9%	86,792	82.7%	▲5
負債及び純資産合計	106,042	100.0%	104,910	100.0%	▲1,132

<当期のポイント>

- 流動資産： 1,747百万円増
 - ・現金及び預金の減少 (1,582百万円減)
 - ・売掛金の減少 (1,675百万円減)
 - ・棚卸資産の増加 (4,560百万円増)
- 固定資産： 2,879百万円減
 - ・有形固定資産の減少 (1,284百万円減)
 - ・無形固定資産の減少 (1,414百万円減)
- 流動負債： 830百万円減
 - ・支払手形及び買掛金の増加 (1,453百万円増)
 - ・その他流動負債の減少 (2,284百万円減)
- 固定負債： 295百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

(単位: 百万円)

	04年3月期	05年3月期	06年3月期	07年3月期	08年3月期	09年3月期 (予想)
売上高 (輸出高)	63,589 (8,533)	64,938 (8,838)	67,357 (8,331)	66,052 (5,521)	70,480 (4,155)	77,800 (3,900)
売上原価 (売上原価率)%	21,273 (33.5%)	21,653 (33.3%)	21,821 (32.4%)	23,815 (36.1%)	25,217 (35.8%)	—
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	33,515 (52.7%)	37,373 (57.6%)	36,762 (54.6%)	34,623 (52.4%)	38,319 (54.4%)	—
うち研究開発費 (研究開発费率)%	8,219 (12.9%)	12,698 (19.6%)	10,013 (14.9%)	8,216 (12.4%)	9,959 (14.1%)	11,500 (14.8%)
営業利益 (営業利益率)%	8,799 (13.8%)	5,911 (9.1%)	8,773 (13.0%)	7,613 (11.5%)	6,942 (9.8%)	7,600 (9.8%)
経常利益 (経常利益率)%	8,376 (13.2%)	5,723 (8.8%)	8,377 (12.4%)	7,615 (11.5%)	7,328 (10.4%)	8,400 (10.8%)
当期純利益 (当期純利益率)%	5,512 (8.7%)	1,615 (2.5%)	4,771 (7.0%)	4,697 (7.1%)	3,776 (5.4%)	5,100 (6.6%)
一株当たり当期利益(円)	66.59円	21.19円	63.64円	63.25円	50.85円	
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	
総資産	119,604	106,264	111,978	106,042	104,910	
株主資本	90,543	88,839	92,525	85,706	86,140	
純資産	—	—	—	86,797	86,792	
一株当たり純資産(円)	1,217.09円	1,195.26円	1,245.22円	1,168.71円	1,168.63円	
自己資本利益率%	5.7%	1.8%	5.3%	5.2%	4.4%	
自己資本比率%	75.7%	83.6%	82.6%	81.9%	82.7%	
人員(人)	1,597人	1,619人	1,502人	1,488人	1,517人	
設備投資	5,668	6,171	4,455	1,322	1,350	1,800
減価償却費	4,763	3,883	3,307	3,997	3,844	3,200

主な子会社の業績と予想

単位: 億円

杏林製薬	07年3月期	08年3月期
売上高	661	705
営業利益	76	69
当期純利益	47	38

09年3月期(予想)
778
76
51

キョーリンリメディオ	07年1月期	08年1月期
売上高	69	60
営業利益	2	▲7
当期純利益	▲0	▲14

09年1月期(予想)
77
1
▲0

ドクタープログラム	07年1月期	08年1月期
売上高	28	34
営業利益	3	▲3
当期純利益	2	▲4

09年1月期(予想)
40
1
0